

2026年3月2日

合同会社ユーラス上勝神山風力の持分譲渡による共同事業運営開始について

株式会社ユーラスエナジーホールディングス
四国電力株式会社

株式会社ユーラスエナジーホールディングス（代表取締役社長：諏訪部 哲也、以下「ユーラスエナジーHD」）および四国電力株式会社（取締役社長 社長執行役員：宮本 喜弘、以下「四国電力」）は、ユーラスエナジーHD が保有する合同会社ユーラス上勝神山風力の持分 50%を四国電力に譲渡すること（以下「本件持分譲渡」）について合意し、本日（3月2日）付で本件持分譲渡を完了しましたので、お知らせいたします。

本件持分譲渡の実行により、ユーラスエナジーHD と四国電力は、今後は共同出資者として、それぞれが保有する電力事業のノウハウを活用し、電力の安定供給はもとより CO₂ 排出量の削減を通じて、地域社会への貢献と脱炭素社会の実現を目指してまいります。

○ 本事業の概要

発電所名	ユーラスよんでん上勝神山ウインドファーム ^{※1}
事業主体	合同会社ユーラスよんでん上勝神山風力 ^{※2}
出資割合	ユーラスエナジーHD：50% 四国電力：50%
所在地	徳島県勝浦郡上勝町・名西郡神山町
発電出力	34,500kW（2,300kW×15基）
営業運転開始	2022年7月

※1 本日（3月2日）付で、「ユーラス上勝神山ウインドファーム」から名称変更

※2 「合同会社ユーラス上勝神山風力」から名称変更予定

○ 発電所全景



<参考：各社のカーボンニュートラルに向けた取り組み>

○ユーラスエナジーHD

ユーラスエナジーグループは、「クリーンエネルギーの普及・拡大を通じ、地球環境保全の一翼を担う。」という企業理念のもと、30年以上にわたり風力および太陽光発電事業をグローバルに展開しています。日本国内における風力・太陽光発電の連系容量は国内シェア No.1 を誇り、発電所の開発から建設、運転開始後の運転・保守に至るまで、ユーラスエナジーグループで一貫して行う体制を構築しています。

競争力のある再生可能エネルギーを「つくる」だけでなく、再生可能エネルギーを社会で広く活用する未来の早期実現に向けて「集める・整える」「届ける」までのバリューチェーンの構築を目指しています。

○四国電力

四国電力は、エネルギー供給を支える責任ある事業者として、「電源の低炭素化・脱炭素化」と「電気エネルギーの更なる活用」の推進を通じて、2050年のカーボンニュートラルへ挑戦していくこととしております。今後も、再生可能エネルギーの新規開発はもとより、既設発電設備の取得にも積極的に取り組み、それらを長期に維持・運用することで、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

以 上